

— 30年産米 —
食味ランキング
特A復活に向けて！

中干し開始 していますか！

“中干し”は高品質米生産のための最重要管理です。
田植え後 1 か月が経過してもまだ中干しを開始
していない圃場では、早急に開始してください。

※中干し終了時期にも注意!!
品質低下につながるため、出穂
1 か月前(7月5～10日)まで
には遅くても中干しを終了して
ください。

現在の生育情報 (6月20日現在)

※管内12圃場の平均値、平均田植日5月20日

調査内容	今年	前年	指標値	前年比	指標値比
草丈 (cm)	36.1	30.4	35.0	119%	103%
坪当り茎数 (本)	964.7	707.6	920.0	136%	105%
葉数 (葉)	7.8	7.4	7.5	105%	104%
葉色 (SPAD 値)	39.4	37.6	38.0	105%	104%

・草丈：並 茎数：やや多い 葉数：並 葉色：やや濃い

○ 中間追肥 散布時期がやってきました!!

肥料名	成分量 (%)	基準施用量 (10a当り)	使用時期	特徴	店頭価格 (6/20現在)
魚沼ロマン グルメエース	リン酸：6 苦土：10 マンガン：0.1 ホウ素：0.1 ケイ酸：約16 銅・鉄・亜鉛：微量	20～40kg	6月下旬 ～ 7月上旬	リン酸・苦土・ケイ酸に加え、微量要素を多く含むバランスの良いマルチ肥料。	¥2,041
マグコープ	リン酸：17 苦土：3.5	20～40kg	6月下旬 ～ 7月上旬	養分や水分の吸収力を高めるリン酸を多く含む。	¥1,587
けい酸加里 プレミア34	カリ：20 苦土：4 ホウ素：0.1 ケイ酸：34 鉄2～5 アルカリ7～12	20～40kg	6月下旬 ～ 7月上旬	良いお米には欠かせないケイ酸分を豊富に含む。また含まれるカリは緩効性のため効率よく吸収される。	¥2,354

稲が最も水・栄養分を吸収する6月下旬～7月上旬(出穂前35～40日頃)に中間追肥を行うことで、食味・登熟向上につながります。

一斉草刈り週間 ～カメムシからお米を守るために～

7月14日(土)～7月22日(日)

地域全体で一斉に草刈りを行い、カメムシの生息密度を減らして大切なお米を守りましょう！

刈り草は用水路や河川には流さないでください！！

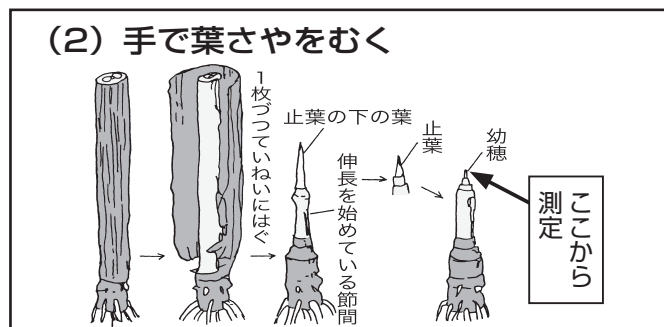
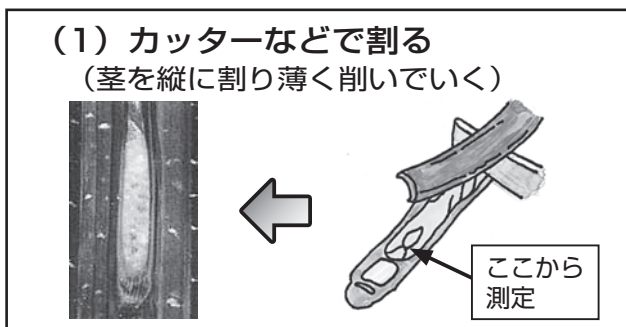
刈り草が用水路や河川に流れると、下流の取水や漁業関係者等に迷惑をかけるので、適切な処理をお願いします。

○穂肥

穂肥施用は米の実りを左右する重要な作業です。登熟後期まで栄養を確保しましょう！
散布時期、散布量は幼穂を確認して適期に行いましょう！

【幼穂の確認方法】

- ① 圃場内の平均的な生育の株から、最も長い茎を根っこから採取する。(3～5か所から採取)
- ② カッターで茎を割るか、手でむいて幼穂を確認する。



【穂肥の施用時期と施用量】

肥料名	成分 (%)			1回目 (出穂前15～12日)		2回目 (出穂前7～5日)		店頭価格 (6/20現在)
	N	P	K	幼穂長	施肥量	幼穂長	施肥量	
有機30魚沼ロマン 穂肥専用	12	4	10	約2cm～8cm	9～13kg	約18cm～20cm	9～13kg	¥2,678
魚沼ロマン 有機穂肥	10	4	12	約2cm	10～15kg	約18cm	10～15kg	¥2,808
国産高度化成 オール14	14	14	14	約8cm	7～10kg	約20cm	7～10kg	¥1,242

【効果】

時期	1回目の穂肥 (出穂15～12日前)	2回目の穂肥 (出穂7～5日前)
効果	① 有効茎歩合の向上 ② 籾数の確保	① 登熟の向上 ② 千粒重の増大
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 生育状況に合わせて施用時期・量を決めましょう。(場合によっては施用を見送る) ● 施用の時期が早いと下位節間の伸長を促し、倒伏を助長する恐れがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2回目の施用時期に穂肥を行っても、下位節間は伸長しません。また、稈の強度を高め、倒伏軽減につながります。

携帯メール会員募集！！

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします！

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記QRコードをご利用ください。➡



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課(TEL777-3786)までお問い合わせください。